

会派代表質問

平成29年11月定例会議



代表質問項目

- 1 平成30年度予算編成の方針について
- 2 犯罪被害者やその家族の支援について
- 3 (仮称)森林環境税と本県の木材利用について
- 4 「レイカディア滋賀 高齢者福祉プラン」について
- 5 小児保健医療センターについて
- 6 県内企業における人材の確保・育成について
- 7 台風21号による農業被害について
- 8 未来を見据えた道路整備の推進について
- 9 学校をめぐる諸課題として、働き方改革といじめ、不登校対策について
- 10 体感治安の向上について



写真提供：(公社)びわこビジターズビューロー

代表質問から

**Q** 県民の安全、安心を確保する施策、事業への  
新年度予算編成における知事の考えは。

**A** 災害が少ないと言われる本県も、ここ数年、台風被害が多く発生しており、大規模な地震災害の発生等も想定すると、県民の皆さんの安全・安心に直接関わる社会資本の災害リスクに備えた対応の重要性を改めて強く感じている。

市町の皆様からも、治水対策に関わるご要望を多数いただいている。河川整備計画に基づき早期に治水効果が発現できるよう事業に努めるとともに、要望の多い治水上支障となる樹木伐採など実施する。また、地震災害に備え、道路施設の耐震化などハード・ソフト両面の充実強化を図る。当初予算では、引き続き県民の安全・安心の一層の向上を図っていききたい。

■台風21号被害



新川決壊



山腹崩壊



ビニールハウス全壊



ため池堤体決壊

二元代表制のもと、  
県民代表の議会議員として、  
県民福祉の向上と県政発展のため、  
活発な議論を通して  
滋賀県らしい自治の創造に努めます。

